

令和7年6月定例会会議録

(令和7年6月25日)

八代市教育委員会

八代市教育委員会 6 月定例会会議録

- 【開催日】 令和 7 年 6 月 2 5 日（水）
- 【場 所】 八代市役所本庁 4 階 4 0 3 会議室
- 【出席者】 中 勇 二 教育長
渡 邊 裕 一 教育委員
早 田 蛍 教育委員
澤 村 互 寛 教育委員
丸 山 智 子 教育委員
- 【出席職員】 田 中 智 樹 教育部長
鋤 田 敦 信 教育部次長
下 津 恵 美 教育部次長
押 方 佐地子 教育政策課長
加 賀 真 一 学校教育課長
稲 本 健 一 教育部理事兼教育施設課長
泉 宣 孝 生涯学習課長
中 村 裕 一 教育サポートセンター所長
田 島 良 洋 博物館未来の森ミュージアム副館長
植 田 浩 之 未来の学校づくり推進室長
- 【事務局】 池 田 拓 次 教育政策課主幹兼教育政策係長
浦 本 美代子 教育政策課参事

（審議事項）

<議案案件>

- ① 八市教委議第 1 9 号 八代市公民館運営審議会委員の委嘱について
- ② 八市教委議第 2 0 号 八代市立博物館未来の森ミュージアム協議会委員の任命について
- ③ 八市教委議第 2 1 号 八代市社会教育委員の委嘱について

<報告案件>

- ① 報告第 1 2 号 八代市議会令和 7 年 6 月定例会について
- ② 報告第 1 3 号 令和 7 年度 6 月補正予算の概要について
- ③ 報告第 1 4 号 令和 8 年度市立幼稚園教職員配置について

1. 開会 (午後 2 時 0 0 分 開会)
2. 教育長報告 前回の会議から今回までに参加した行事や事業、委任された事項などの中で特に重要と思われるものについて報告
3. 議題

<八市教委議第19号> 八代市公民館運営審議会委員の委嘱について

泉生涯学習課長 八代市公民館運営審議会委員の任期満了により、新たに委員を委嘱するもの。

質問等なし

【八市教委議第19号 承認】

<八市教委議第20号> 八代市立博物館未来の森ミュージアム協議会委員の任命について

田島博物館未来の 八代市立博物館未来の森ミュージアム協議会委員に異動が
森ミュージアム副 生じたため、新たに委員を任命するもの。
館長

質問等なし

【八市教委議第20号 承認】

<八市教委議第21号> 八代市社会教育委員の委嘱について

泉生涯学習課長 八代市社会教育委員の任期満了により、新たに委員を委嘱するもの。

質問等なし

【八市教委議第21号 承認】

<報告第12号> 八代市議会令和7年6月定例会について

田中教育部長 八代市議会令和7年6月定例会において、8人の議員から次の8件の質問があった。資料により説明

- ① 野崎 伸也 議員
・図書館に学習スペースが少ない問題について
- ② 高山 正夫 議員
・熊本県立高等学校の統廃合について
- ③ 谷口 徹 議員
・「安心してこどもが生まれ育つことができるまち やつしろ」について
- ④ 大倉 裕一 議員
・米価高騰及び物価高騰における影響並びに支援について
- ⑤ 橋本 隆一 議員

・本市における教育特区の認識及び取組について

⑥ 堀 徹男 議員

・学校の安全対策について

⑦ 増田 一喜 議員

・学校施設の整備について

⑧ 山本 敬晃 議員

・学校施設の整備について

丸山教育委員 不審者対策の件について、教室に設置してあるインターフォンから職員室に連絡するとあるが、インターフォンは全ての教室に備わっているのだろうか。

加賀学校教育課長 備わっている。職員室に直通するものである。

中教育長 これは、池田小学校の事件の後に付けたものである。

早田教育委員 給食費の値上げについて、1人600円、八代市が補填しているということであるが、保護者には知らせてあるのだろうか。知らなかったのもう少しPRしてもよいのではないかと思った。本当にありがたい話であると思う。

次に、図書館の学習スペースが少ない問題について、町の至るところで子供たちが勉強しているなというのを普段の生活でとても感じている。市役所の1階でも夜遅くまで、子供たちが勉強しているし、近くのカフェでも勉強している。学校だけでなく勉強するスペースが他にもないのだろうかと思いつつ、勉強する姿はとても素晴らしく、八代市の未来を担う子供たちなので、後押ししていくべきではないかと思う。図書館だけでなく、他にも案があるとよいと思う。

押方教育政策課長 給食費のお知らせについては、学校に保護者の皆さまへお知らせいただくよう通知を出しているが、今回、お知らせが届いていないというご指摘をいただいたので、再度確認し、対応したいと思う。

田中教育部長 この軽減事業については、3年程続いている。昨年度はできなかったが、2年前、3年前は600円ずつ補助をしている。これは、国の物価高騰の交付金を財源にして行うものであるが、昨年度は国の交付金がなかったためできなかった。今年度は、交付金があったため、食材の値上げ分を保護者の負担から軽減した。ご指摘のとおり、しっかりPRしたいと思う。

押方教育政策課長 学校を通じて安心安全メールでも一度お知らせしたが、改めてPRしたいと思う。

- 泉生涯学習課長 2点目の質問の図書館の学習スペースについて、今年度、森林贈与税を財源としてコンセント付きの机を新たに導入する予定である。それを図書館の学習ルームに設置する予定であることを答弁している。議員から、図書館以外にも庁舎1階の会議室等の利活用についても質問があったが、担当課が異なるため回答は控えさせていただいた。
- 田中教育部長 確かに1階ロビーの情報プラザでは、夜10時頃まで子供たちが勉強している。議員からも公共施設はまだ他にもあり、特に会議室を使用していないときは開放してはどうかという要望もあった。
- 中教育長 別の議員からであるが、幼い子供たちを遊ばせるようなスペースを公共施設の中に設けてもらえないかという質問があった。財務部で答えたと思う。教育委員会は、基本的には小中学生を対象としている。中学生は公共施設で勉強するということはあまりないと思うが、高校生は、特に夏休みなどはそのような勉強する場所がほしいのではないかと思う。どこかに投げかけて、どうにかしてもらいたいという気持ちはある。八代市は気軽に自由に使えるスペースが少ないということは、いろいろな場面で聞く。施設を所管するところが連携しながら、考えていかなければならないと思う。
- 渡邊教育委員 時間外の学校への電話連絡について、時間外は学校教育課で電話を受けられると思うが、これまでどのくらいの頻度で電話があったらうか。また、学校教育課の職員にとっても時間外になると思うが、いかがだろうか。
- 加賀学校教育課長 時間外の電話連絡について、昨年度はなかったと認識している。2年前、学校に留守番電話を設置したときは、年間に2、3件ほどでほぼなかったと聞いている。また、学校教育課の職員にとっても時間外であるということについて、早く来て、登校時間中、また下校した後までは対応していこうということで答えたところである。
- 渡邊教育委員 電話機について、学校からはナンバーディスプレイの要望も多いのではないかと思うが、現在の設置状況はどうだろうか。100%だろうか。
- 押方教育政策課長 ナンバーディスプレイは、一部の学校だけが対応できている状況である。学校からの要望はあるので、現状を把握し、次の契約更新時を目途に対応できたらよいかと思っているが、現在検討中である。

渡邊教育委員

ナンバーディスプレイは、学校から要望があるのであれば前向きに検討いただきたい。

また、教育特区について、学校再編をしている未来の学校づくり推進室のこれからの動きに関わると思う。意見であるが、特区や特例校、義務教育学校、多様な学び学校など、いろいろな形が将来的に考えられる。方針や計画を出す前に、こういったことについても十分検討した方針や計画であったほうが良いと思う。後で、こういうのもあると言われたが、検討していなかったということにはならないほうが良いと思う。

植田未来の学校づくり推進室長

推進室でも、いただいたご意見のとおりを考えている。方針、計画策定のなかで、教育委員の皆さまにも相談しながらというところが出てくるかと思うので、適宜、機会を設けてお知らせし、協議に移っていきたい。そのような点を加味した内容に、ぜひ考えていききたいと思う。

田中教育部長

ナンバーディスプレイについて、学校だけではなく市役所でもカスタマーハラスメント対策の一環として、ナンバーディスプレイと合わせて録音機能を導入すると精神的な部分で助かるのではないか。これは学校だけではなく、市全体の対応として、昼間の対応を考えていかなければならないと思う。ナンバーディスプレイと合わせて検討したい。実際、熊本県庁、熊本市は導入している。

渡邊教育委員

録音機能はすでにあると思い込んでいたが、実際は学校関係にはほとんどないということだろうか。

田中教育部長

導入していない。

澤村教育委員

図書館について、高校生が主な対象となると思うが、大人の方も勉強したい、興味のあることを調べたいという方がいらっしゃると思う。いろんな世代の方が、気軽に利用できるような施設として、図書館が一番中心になってくると思うので、自由に行き来ができるようになるとよいと思う。

また、学校の安全対策について、立川市の事件があったとき、このような事件もあるのだと思った。不審者の侵入というと、子供をねらって、子供を傷付けようというのが今までであったが、今回は子供ではなく教師だった。教師の対応に不満を持った保護者が知人を呼んだ形だと思う。子供たちのいじめやけんかなどのトラブルは学校でよくあるが、双方が納得いくような解決ができない場合もあるので、このようなケースについては、学校側では苦労されているのではないかと

と思った。ただ、今回は最初から教員に対して力で威圧し、自分の子供のほうに有利にさせるような意図があるように思える。このような事件は、学校で今後頻繁にあることではないと思うが、危機管理マニュアルの点検も行われたようなので、あるかもしれないという想定で、対応策を決めておくと安心できるのではないだろうかと思う。この案件は、対処するのは非常に困難な状況であったと認識してあるように、非常に難しい案件だと思う。今回の事件は、このようなことも起こり得るということを認識する意味では、重要な事件であったと思う。

中教育長

電話での暴言等ではなく実力行使という事態であるので、現場としては、このような場合はどう対応するのかということをご悩まれるのではないかと思います。教育委員会としても、学校と一緒に対応の方法等を考える必要があり、抑止するための方策などを考えていかなければならないと思っています。

<報告第13号> 令和7年度6月補正予算の概要について

鋤田教育部次長

6月定例市議会において議決されたものについて、資料により説明

●教育研究校推進事業（中学校）

質問等なし

<報告第14号> 令和8年度市立幼稚園教職員配置について

加賀学校教育課長

令和8年度から開園する2園の教職員配置について、人事課及びこども未来課と協議し、方向性が決定したため報告するもの。

資料により説明

渡邊教育委員

人事については、大変難しいところだったかと思うが、いくつかお尋ねしたい。

用務員、保育支援員について、多くの方々が2つの幼稚園に入れられない状態になるかと思う。他の支援員、小中学校の用務員との兼ね合いもあると思うが、どのように配慮されるのだろうか。

また、以前、園長会からは事務職員を配置してほしいということだった。これについては、副園長のどちらかが今までのように担っていくと想像するが、いかがだろうか。

加賀学校教育課長

会計年度任用職員の方々に関して、用務員の方々は、現在、学校と園で交流を行っているので、幼稚園に配置できな

かった方に関しては、学校への勤務と考えている。

幼稚園保育支援員に関しては、実際、この業務はなくなる。特別支援教育支援員は、特に低学年で学校としてのニーズが高いので、毎年20～30人の任用があるため、その上でぜひ、お力添えいただければということの説明したいと思う。

また、事務職員に関しては、これまで副園長が担任業務をしながら事務職を行っており大変な部分があったが、今回、副園長は2名配置するため、それぞれに余裕があるのではないかと思われ、そのまま副園長が可能であると考えている。

中教育長

副園長級の指導員と園長級のコーディネーターの職務内容をしっかり固めておく必要があると思う。特に、保育支援員がいなくなるので、これまでは、その場に応じて業務を割り振っていたのではないかと思うが、その方たちがいなくなる中で、園長級、副園長級の方々に、その仕事を行っていただくのは難しいと思う。園長級、副園長級の方々に、新しい職としてどのようなことをするのか、あるいは支援員の方々の部分のフォローは、どのような体制とするのかをもう少し煮詰めておく必要があると思うのでお願いしたい。

もう1点、今回議会の中で、条例改正の説明を文教福祉委員会にされたと思うが、そのときに、どのような質問があって、どのような回答をしたかというのを紹介していただきたい。

加賀学校教育課長

条例改正について、文教福祉委員会の中で説明を行った。その中で、どのような経緯で園名が決まったのかという質問があった。まずは、昨年12月から1月にかけて募集を行い、その後、教育委員会で視点を決めて絞ったものを定例会で諮り、最後は園の子供たちも含めて決定したということの説明した。

下津教育部次長

今後の存続に向けての見通しについて質問があった。現在の人数を説明しながら、子供たちにとってよりよい環境、学びの環境を整えて、存続していくということを回答している。他に、こども園を開園するという考えはなかったかという質問があった。市内で定員は足りているということと、こども未来課とも協議し、今回は幼稚園としてしっかり学びの場を作るということで、2園の幼稚園を開園することに決まったということ、基本計画などを策定する中の流れでの説明をした。特色のある、魅力のある幼稚園づくりは大事なので、そこに行きたいという園づくりを進めてほしいという意見があった。

中教育長

先週、園訪問で太田郷幼稚園に行ったが、そこでお願いをした。公立幼稚園が必要であるということで、保育施設の定員は余っている中で残したので、残した理由をはっきり市民の方々に分かるような、公立幼稚園があつてよかつたと言われるようなところをしっかりと考えてほしいということをお願いしてきたところである。この少子化がどんどん進むと、全体的に増えることは難しく、減っていくだろうと思う。存在意義をしっかりとアピールできるようにしていければよいと思っている。

渡邊教育委員

6つの園の閉園と2つの園の開園に向けて、何がどの程度進んでいるのか、進捗状況を伺いたい。

加賀学校教育課長

閉園に向けては、閉園式を1カ所で同時開催をする予定としている。園長先生同士、打合せをして進めているところである。他に、書類関係や備品関係について、必要なもの、残すものなどは園長先生方でやり取りをしていただき、園で解決できないことについては、教育委員会に相談いただくように伝えている。校長園長会が終わった後、担当を含め進捗状況を確認している。

2園の開園については、太田郷幼稚園と松高幼稚園の園舎が残るが、どう進めてよいか困っておられる様子もあつたため、校長園長会の後に話を聞いたところである。まずは、魅力ある園づくりのためにどうしたらよいかということについて、例年であれば年度末に市の幼稚園教育の方向性を示すが、半年ほど早めて示し、それを来年度、にじいろ幼稚園、あおぞら幼稚園の2園でどう進めていくかということ、園長先生方と一緒に作っていきたいと考えている。しっかりと園の特色を出しながら、教育の必要性を示していきたいと考えている。

田中教育部長

次回の定例教育委員会で、現在の進捗状況を資料で示したい。一番大事なのは、園児募集のときに、それぞれの園のグランドデザインを示すことであると思っている。どのような特色があるのか、魅力があるのか、10月の園児募集のときにしっかりと見ていただくことができるよう、準備を進めていきたい。

丸山教育委員

人事に関して、公立保育園に異動される8人の方々が一番心配である。幼稚園と保育園は似たような仕事と思われるところもあるかもしれないが、勤務体制も職場風土も全く違う。ぜひ、この人選にあたっては十分配慮され、柔軟性のある方を選んでいただき、異動後もしっかりとフォローできるような体制を、こども未来課ともしっかりと連携して整えていた

だきたいと思う。また、市の教育委員会へ現在の園長先生から1人異動されるということであるが、学校教育課での役職、職名はどうなるのか。

加賀学校教育課長 学校教育課に1人配属を考えている。職名は確認したい。

丸山教育委員 園長は課長補佐級の何らかの職名になると思う。幼稚園に残る方々はそう心配ないと思うが、環境が変わられる方については、十分配慮をお願いしたい。

また、先ほど部長から次の秋の園児募集までにこの両園の特色ある保育体制等を固めるとあったが、これはだれが決めるのだろうか。

田中教育部長 今の6園の幼稚園と学校教育課が一緒になって作っていきたい。

丸山教育委員 基本的に2園とも同じで、八代市の公立幼稚園としての特色を作るということであるか。

田中教育部長 そうである。

4. 連絡事項
- | | |
|-------------|---|
| 教育政策課 | 第1回総合教育会議(7/18)
やつプロ2025(9月まで応募受付、11月
審査結果) |
| 学校教育課 | 八代市中体連(7/21~)
学校・園訪問(C訪問)(6月に2校、7月に3
校1園)
1学期終業式(7/18)2学期始業式(8/25)
学校閉庁日(8/12~15)
「拠点校部活動」「合同部活動」を7月から順次
導入予定 |
| 教育施設課 | 令和7年度整備事業計画について |
| 生涯学習課 | 二十歳の集い実行委員会委嘱状交付式及び第1
回実行委員会(7/10)
キッズチャレンジ2025 アウトドアスクール
(7/29~31) |
| 教育サポートセンター | くま川教室保護者会(6/27)
くま川教室1学期閉級式(7/11) |
| 博物館 | 図書館・お祭りでんでん館共催各種講座
やつしろ草の展示について |
| 未来の学校づくり推進室 | |
| | 第1回再編基本方針策定会議(6/26) |
| 事務局 | 7月定例会日程確認(7/28 14:00~) |

5. 会議録署名委員の指名 渡邊委員・早田委員

6. 閉会 (午後3時28分 閉会)

令和 年 月 日

署名委員

記録者
